

たろ

TAKUSUI
No. 679

5

May. 2013

発行 (財)兵庫県水産振興基金

兵庫の漁業人のための情報誌



サワラ漁はじまる (JF五色町)

平成25年度 兵庫県功労者表彰 ~農林水産功労で2名の方が受賞~

平成24年度 のり共販終了

ご存知ですか? ライフガードレディース

ようこそ

「ずっと真っ直ぐに」

（ようこそとは航海用語で「宜しく候の意。主に船を直進させるとききの号令として使われる」）

「恩人との出会い」に感謝をこめて

（財）兵庫県水産振興基金専務理事 戸田 氏 懿



「人は人と出会って人と成る」誰でも、この人と出会ったことで人生が開けたな、という出会いはあると思う。私もこの方との出会いが無ければ今の私はなかったと常々感謝しているお方が三人いる。ご本人の迷惑も顧みず、いい機会なのでご紹介したい。

先ずは県内水面漁連（水産業改良普及嘱託員）時代に「県漁連に嘱託員の空席が出た。漁連の仕事はこれから面白くなるで」と半ば強引に転職をお世話頂いた田Dさん。当時は水産課課長補佐で軽妙な語り口と豊かな発想力でご指導いただき、懐が寒い折仲間までお務め頂いた。漁連という新天地を与えて頂いた大恩人である。

そして、旧県漁連時代に三浦会長のと、諸々の公害対策や三漁連の合併など黎明期の漁業界を牽引されたY田会長と出会えたこと。国内外視察や国会陳情、油濁基金等中央機構の創設活動など様々な場面に随伴し、漁協組織の役割や将来への夢など教示頂いた。迅速果敢な行動力と事を成す強い信念で障壁を打破される反面、常に四圍に気配りを忘れない優しい方だった。思慮不足でよく怒られたが、何故か後味が爽やかだった。早逝した実父より思い出が多く、私には慈父であり、厳父であり、人生の師である。勿論、現漁連会長のお父上である。二代に亘りお世話になっており感謝に堪えない。

そして弁護士のN田さんである。昭和四十六年？国会の食堂で言葉を交して以来四十数年、ご厚情を頂いている。バリトンボイスと少々早口でも歯切れの良い江戸っ子弁、豊富な話題、明朗で広い人脈、付き合うほどに魅力が増す味わい深い方だ。悩み苦しんだ時には的確な助言や励ましを頂いたことも度々で、家族共々全幅の信頼をおく心強い友であり師である。

浅学非才の私だが、三人の「田さん」との出会いが、後々、素晴らしい上司や同僚、友人との出会いに繋がっている。「人ひとり異なればこそ価値がある」を口癖に、実に多くの方々を支えられ今日に至っている。当に日々是好日の人生では？と感謝してやまない。

CONTENTS

No.679 May. 2013

- 2 ようこそ
- 3 燃油高騰に大きな不満！ 小型イカ釣漁業が一斉休漁
平成25年度 県功労者表彰
- 4 淡路島で地震 (M6.2)
- 5 平成24年度 のり共販終了
- 6 サワラ漁がスタート
- 7 系統・漁協新人職員紹介
- 8 カキに続け！ アサリの延縄式垂下蓄養肥育
- 10 ご存知ですか？ライフガードレディース
- 11 兵庫JCC通信
- 12 旬に想う
大輪田塾だより



表紙の言葉

サワラ漁はじまる (JF五色町)

一匹の 鯖を以って もてなさん 高浜 虚子

魚体が細長く、狭い腹(サハラ)であることが語源とされるサワラ。

漢字では、魚偏に春と記し、文字通り春に旬を迎えます。くせのない上品な白身で、刺身、タタキのほか味噌漬け、フライ、ムニエルなどに調理され私たちを楽しませてくれますが、近年、漁獲量の激減から、多くの人々の努力によって資源回復が図られています。

これからも、サワラの水揚げで活気付く浜の風景が見られるよう願ってやみません。

燃油高騰に大きな不満！ 小型イカ釣漁業が一斉休漁 5月末には本県・全国で集会開催

全国いか釣漁業協議会（能登博之会長）は、厳しい経営状況の中、これまで減速走行など燃油コスト削減に取り組んできましたが、近年の燃油価格の高止まりに加え、景気浮揚策による急速な円安進行で燃油が高騰していることから、これら窮状を訴えるため、4月16日（火）の全体会議で一斉休漁を決定し、4月27日（土）と28日（日）の2日間実施しました。

休漁したのは同協議会に所属する小型イカ釣漁船（30トン未満）4,000隻のうち対象となる約1,500隻で、県内ではJF浜坂町（川越一男組合長）の約19トン6隻が参加しました。同協議会が一斉休漁するのは、2008年（平成20年）7月15日に東京で約3,500人が集まった「漁業経営危機突破 全国漁民大会」と併せて行われ、全国20万隻が参加した「漁船一斉休漁」以来となります。また、26日、同協議会は本川一善水産庁長官に対し、急激な円安等による燃油価格異常高騰分への緊急政策や、漁業経営セーフティーネット構築事業の抜本的改善などを強く求めました。

JF全漁連（服部郁弘会長）では5月29日（水）に東京で「我が国漁業の存続を求める全国漁業代表者集会」を開催することを決定し、今後、一連の問題について業界を挙げて取り組んでいきます。

決定！

兵庫県でも5月25日（土）に淡路市 国際会議場で「兵庫県漁民大会」を開催することが決定しました。

平成25年度 県功労者表彰

～水産関係から2名が受賞～

兵庫県は5月3日（金）に「平成25年度県功労者表彰」の受賞者の発表を行い、水産関係から2名の方が選ばれました。なお、授賞式は5月21日（火）に神戸市中央区の県公館で行われます。受賞されました方は次の通りです。

【農林水産功労】

里村 克 様

（香住水産加工協同組合代表理事組合長）



【農林水産功労】

上村 広一 様

（JF坊勢代表理事組合長、
兵庫県漁業共済組合組合長理事）



淡路島で地震 (M6.2)

～淡路島内の漁港などに被害～

4月13日(土)、午前5時33分に淡路島付近を震源とした地震(淡路で最大震度6弱・マグニチュード6.3)は、淡路島の漁港に被害をもたらしました。

地震発生当時は大きな混乱は無く、落ち着いた対応がなされたようですが、浜では、竣工式直前のJF津名荷さばき所(生穂漁港)がひび割れ、沈下等の被害を受け、式典が延期になったほか、各漁港や漁船にも被害がありました。また、住宅等では瓦が落ちるなどの被害がありました。兵庫県が漁港について被害状況を調べた結果は下図のとおりです。

被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。



目地が開いた護岸



被害を受けたJF津名新荷さばき所



ひび割れも各漁港で見られた

平成24年度のり共販終了

JF兵庫漁連のり海藻事業本部

今漁期最終の共販となる第12回乾のり入札会が、5月1日(水)、JF兵庫漁連のり流通センターにおいて行われ、約90名(38社)の出席がありました。
上場枚数は2,119万枚で、共販金額は1億2,151万円となり、今漁期の兵

庫県ののり共販結果は生産枚数11億7,804万枚(昨年比:▲3億6,075万枚)、共販金額90億9,110万円(昨年比:▲53億9,686万円)となりました。(今漁期の結果は別表のとおりです。)

最終共販の挨拶に立ったJF兵庫漁連突々淳参事は「今漁期は兵庫県でも全国でも厳しい結果となった。今期も発生した色落ちについて、JF兵庫漁連は瀬戸内海再生の動きを進め、今年9月の臨時国会での法案提出に向けた検討が行われる」とし、豊かな海を取り戻す運動が確実に進んでいることを強調されました。

続いて、兵庫県海苔入札指定商組合松谷晃理事長(松谷海苔(株)代表取締役社長)は「全国のノリ単価平均が昭和38年以來の約50年ぶりの安価の年となった。まだまだ我々業界はデフレから脱却できず苦しんでいるが、今年手に入った良いノリを売って、需要を喚起し来年につなげたい」とされました。

今漁期は、栄養塩が少ない中ででのスタートとなり、強風の影響があったものの当初は順調な生産が続きましたが、2月中旬以降に色落ちが発生しました。その後、栄養塩の回復が見られず、各地で減産・終漁が進むなか、当初予定されていた合計13回の共販を12回に短縮することとなりました。



今年度最終共販・見付場の様子



松谷理事長のあいさつ



瀬戸内海再生について話す突々参事

今後、JF兵庫漁連や各JFでは、従来の海底耕耘や「かいぼり」の展開を進めるとともに、下水道管理運轉の要請や、国等に「豊かな海」の再生を目指した運動を行い、ノリ生産はもちろん、漁船漁業の発展にも繋げる活動を展開していきます。

平成24年度 兵庫県乾のり共販結果

	共販年度	共販枚数	共販金額	平均単価
本県	平成24年	11億7,804万枚	90億9,110万円	7円70銭
	平成23年	15億3,879万枚	144億8,796万円	9円39銭
	平成22年	11億3,483万枚	90億9,429万円	7円99銭
全国	平成24年	81億8,758万枚	702億0,913万円	8円57銭
	平成23年	77億6,852万枚	772億1,329万円	9円94銭
	平成22年	85億5,101万枚	785億6,692万円	9円19銭

サワラ漁がスタート

「JF五色町がテレビ番組取材に協力」

(財)兵庫県水産振興基金

4月20日(土)から瀬戸内海側の流し網、はなつぎ網などによるサワラ漁が始まりました。

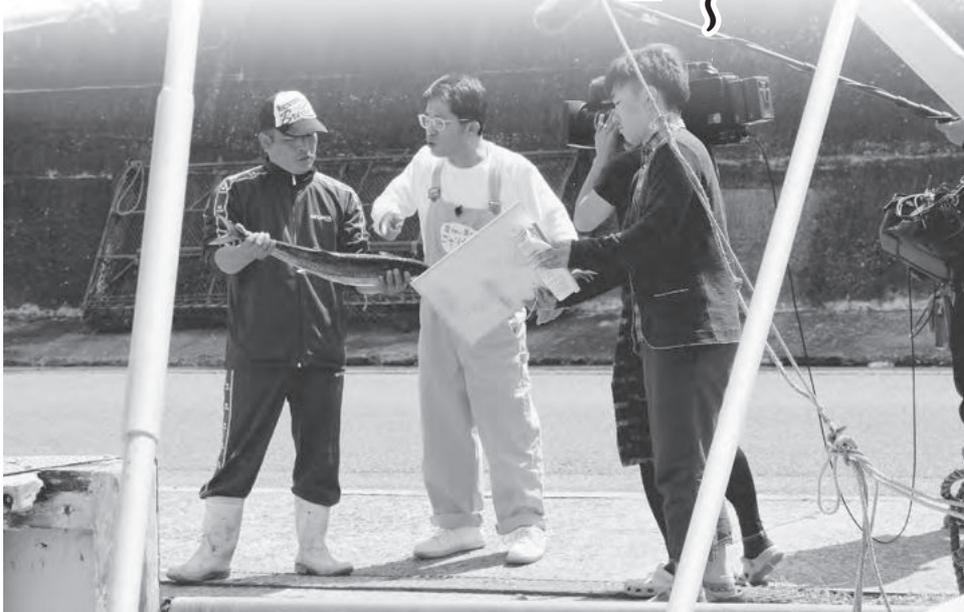
JF五色町(播磨 孝次組合長)は、古くからサワラ流し網漁業が盛んなことから、地域を代表する魚として地元で親しまれ、洲本市の「市の魚」に指定されています。4月25日(木)には

人気漫才師トミーズ健さんを迎えて、サワラを特集するテレビ番組(関西テレビ5月20日(月)放送予定)の収録が行われ、同JFの協力も受けましたので取材させて頂きました。



収録はまず浜で行われ、同JF組合員 杉本光一さんのサワラについての説明や、播磨組合長のサワラをさばくシーンが撮影されました。「大阪では切り身でしか見たことがない」と初めてみるサワラの魚体に驚く健さんは、刺身を口にして何度も「うまい！」を連発。スタッフの皆さんも「美味しい」と大好評でした。その後、番組スタッフは地元3家庭で焼き物、煮付け、フライのほか混ぜご飯などのサワラ料理を撮影しました。

収録はまず浜で行われ、同JF組合員 杉本光一さんのサワラについての説明や、播磨組合



サワラについて説明する杉本さん(左端)

また、取材している時、播磨組合長からサワラに関する様々なお話を伺うことができました。激減したサワラ資源の回復を図るため、10年以上も前から行われているサワラの受精卵放流をはじめ、中間育成、網目規制といった資源管理とあわせ、沖が混乱するのを避ける時間差出漁、操業時間短縮、すぐに氷水でしめて鮮度保持に努めるといった操業・価格向上の取組みなどをお聞きし、同JFのサワラにかける熱い思いが伝わってきました。



播磨組合長によるサワラのさばき実演



組合員 大西貴士さんの家での撮影風景
奥様の久美さんがサワラの混ぜごはんやアクアパッツァを紹介

J F 共水連兵庫県事務所

企画推進課

みうら ゆうすけ
三浦 裕介

私は中学校から大学まで陸上長距離に携わってきました。陸上をとおして人との繋がりを大切にしてきました。

業務でも人との繋がりを大切にしたいと思っています。宜しく願います。



系統・漁協 新人職員紹介

新たに採用された職員の皆さんを
ご紹介します

J F 神戸市

事業部 販売購買課

いのうえ ゆうき
井上 裕紀

1月からJF神戸市で勤務しております。確実に業務をこなせるように日々努力していきます。そして組合員のために精一杯頑張ります。



J F 兵庫漁連

石油部 西飾磨給油所

おかざき あや
岡崎 彩

私は幼い頃から海や魚が好きで、水産業界にずっと興味を持っていました。将来も水産に携わる仕事に就きたいと水産大学校に進学しました。在学中は水産関連の様々な分野を学び、より一層水産業界に関心を持ちました。そのなかでも特に漁業者の方々と関わる仕事、漁業者の方々に貢献できる仕事をしたいと思うようになりました。そして、それを実現できる漁連という組織に加わることが出来ました。この幼い頃から持ち続けてきた想いを忘れず、これから精一杯頑張ります。よろしく願致します。



J F 神戸市

事業部 販売購買課

もりもと あつし
森本 淳史

漁師さんをはじめ多くの方が築いて来られたこの組合の名に恥じぬよう、精一杯努力していきたいと思っています。どうかご指導のほどよろしくお願い致します。



J F 兵庫漁連

淡路油槽所 仮屋給油所

おかだ さき
岡田 早生

特技：書道（師範を目指しています）
趣味：これといって趣味を持っていないので、是非誘ってください。
好きな食べ物：うどん
漁連の一員として漁師さんのために頑張ります。仕事を通して強い女性になりたいと思います。



J F 南あわじ

すが まいか
菅 舞佳

まだ分からない事だらけですが、1日でも早く仕事を覚えて一生懸命頑張りたいと思っていますので、よろしくお願い致します。



J F 兵庫漁連

石油部 明石油槽所

ただ ゆきひろ
多田 幸弘

「人生思いきり、そして開き直り」をモットーに頑張ります。

頑張ります。

頑張ります。

よろしく願います。



JF兵庫漁連

さすが まこと
貴家 誠

初めてお会いした方と、名刺交換をいたしますと、私の名字の珍しさに先ず話題が行きます。私自身の出身地は千葉県ですが、父の実家が山梨県にあり、何世代か遡ると神社の神主をやっていた関係で、このような珍しい名字と聞いております。また、血縁はありませんが、TVアニメ番組「サザエさん」で、タラちゃん役の声優の方が、同じ苗字の貴家さんです。

さて、私はこれまでJF全漁連で、販売事業・購買事業・指導事業の各部門を経験して参りましたが、このような漁業現場に近いところで仕事をするのは初めてで、貴重な経験をさせていただき喜びを感じております。これから兵庫県の漁業者のために誠心誠意頑張りたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。



4月1日より、人材交流の一環として、全国漁業協同組合連合会からJF兵庫漁連指導部に出向してこられた方を紹介いたします。

カキに続け！アサリの延縄式垂下蓄養肥育

室津漁協青年部・アサリ同業会の延縄式アサリ蓄養肥育の取り組み

光都農林水産振興事務所水産漁港課

本県の西播磨地域でのカキの養殖は、漁場環境に恵まれ、良好な生産が続いていますが、本養殖の開始から1年で出荷サイズに成長し、他県に比べてとても成長が早いことから、アサリの蓄養肥育も行われ、カキと同様に身入りの良い高品質なアサリが生産されています。本稿ではJF室津青年部・アサリ同業会が取り組んでいる延縄式アサリ蓄養肥育の取り組みについて紹介します。

アサリ蓄養肥育は、カキ養殖と同じ孟宗竹と杉を使ったものや、鉄パイプで作成された筏に、砂を入れたコンテナを吊るす垂下式で行われていますが、風浪の強い場所では、筏の振動によりコンテナの中の砂が流失してしまうので、設置場所は湾内の奥部の静穏な海域に限定されてしまいます。

そこで、JF室津青年部とアサリ同業会は、(財)兵庫県水産振興基金及び西播磨協議会の補助を受け、比較的風浪の影響を受ける海域でも垂下式蓄養肥育が可能となる養殖技術開発に平成22年度から取り組みました。それが、「延縄式垂下蓄養肥育」です。

延縄式垂下蓄養肥育は図1、2のようにフロート結びつけた100mの幹縄にコンテナを垂下しています。当初は、ノリ養殖でよく用いられる樽型フ

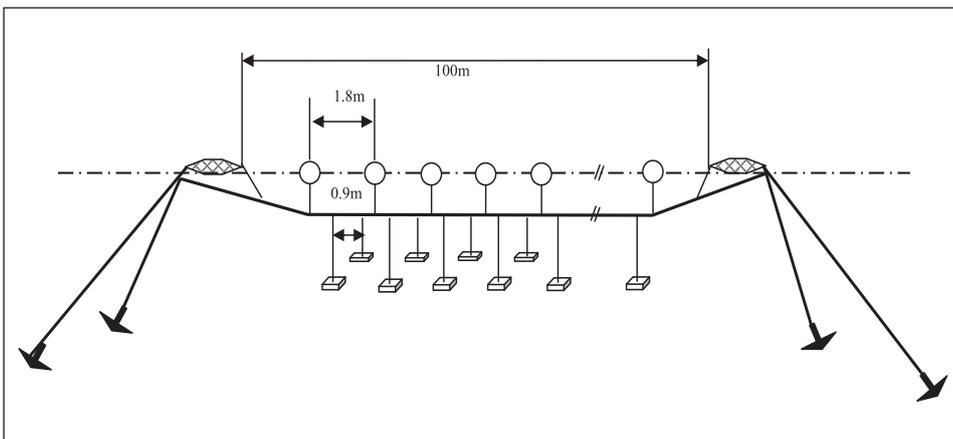


図1 改良型延縄式垂下蓄養施設の概略図

ロートを用いましたが、波の影響を受けやすく、砂の流失が起こることがわかりました。そこで、施設の検討・設置に中心的取り組んだJF室津の磯部公一氏が色々と試行錯誤した結果、直径39cmの玉型フロートを用い、通常の波では水面に浮いているが、大きな波が来た場合は水没する程度の浮力に調整（直径39cmの玉型フロート1個にコンテナ2箱を吊す）をしたものに改良しました。その結果、平成24年4月の台風並みの低気圧（爆

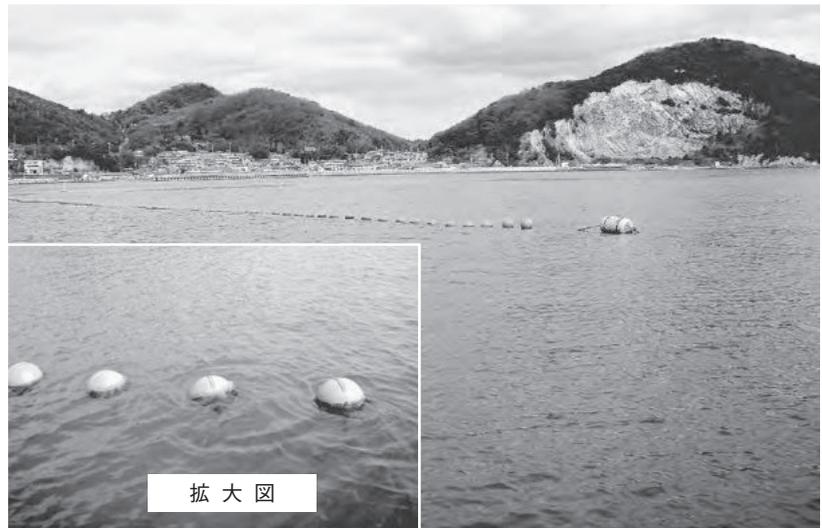
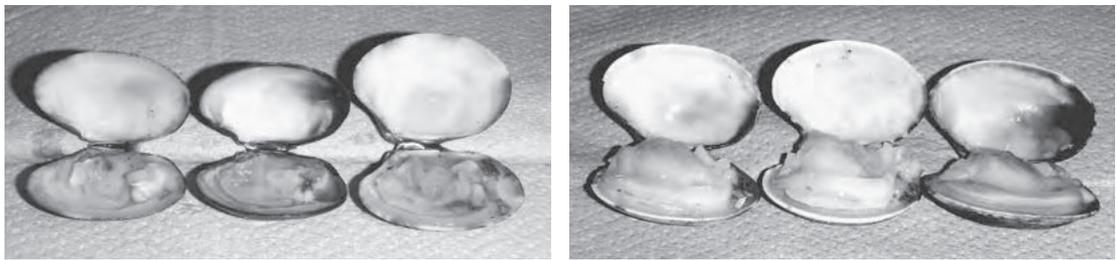


図2 改良型延縄式垂下蓄養施設

弾低気圧）の通過でも砂の流出はなく、良好にアサリが生育することが確認できました。垂下式蓄養肥育のアサリは常時水中にあるため、常に摂餌ができることから、天然アサリよりも太りやすい環境にあります。実際、当該試験で蓄養したものは図3、4が示すように非常に身入りがよく、甘みが強くなりました。また、通常、コンテナあたり150個程度のアサリを入れて蓄養肥育しますが、この実験で300個のアサリを収容しても通常と同様に生育することもわかりました。このように、玉型フロートを用いた延縄式施設

でも砂の流出はなく、良好にアサリが生育することが確認できました。垂下式蓄養肥育のアサリは常時水中にあるため、常に摂餌ができることから、天然アサリよりも太りやすい環境にあります。実際、当該試験で蓄養したものは図3、4が示すように非常に身入りがよく、甘みが強くなりました。また、通常、コンテナあたり150個程度のアサリを入れて蓄養肥育しますが、この実験で300個のアサリを収容しても通常と同様に生育することもわかりました。このように、玉型フロートを用いた延縄式施設



試験開始時 (H24. 12. 14) 試験終了時 (H25. 3. 14 3ヶ月後)

図3 蓄養肥育試験開始時と試験終了後のアサリの身入り

は、風浪の影響を受ける海域でもコンテナ内の砂を流失させずに良好なアサリが生産できることが確認されました。このことは、県下各地の地先海面でもアサリを初めとする二枚貝の蓄養肥育、さらには養殖が可能であることが示唆され、今後の各地での普及が期待されます。

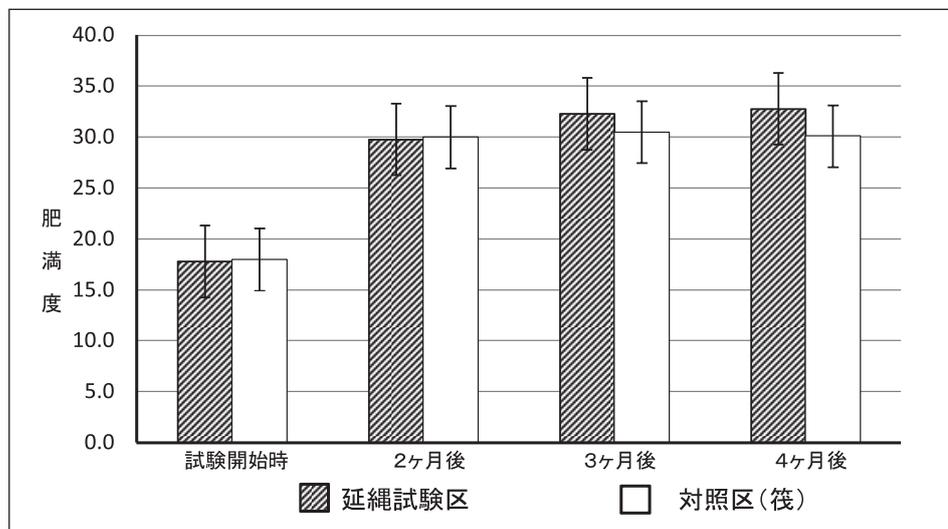


図4 蓄養肥育したアサリの身入り(肥満度)の推移

海難事故防止に向けて ご存知ですか?ライフガードレディース ～JF高砂で活躍する3名のLGLを紹介～

(財)兵庫県水産振興基金



玄関すぐ脇に並べられた救命具

宮城県の漁協女性部が始めたライフジャケット着用推進活動をきっかけに誕生したライフガードレディース(以下、LGLと表記)は平成24年12月末時点で全国約2,600人を超える方々に委嘱され、様々な活動を展開しています。県内でも6名の方に委嘱されており、今回はJF高砂(松本力組合長)の3名のLGLさんからお話を伺うことが出来ましたのでご紹介いたします。(なお、LGL3名の方がお名前の掲載を遠慮されましたので、LGLさんと掲載しています。)

LGLの活動が始まったきっかけは、海難事故が多発するなか、加古川海上保安署より救命胴衣着用推進を目的に活動が出来ないかとJF高砂(松本力組合長)に打診があったことからでした。松本組合長は

「女性の力を借りたい」と役員のお奥様である3名の方を推薦し、一昨年の1月に同保安署にて委嘱式を経て、晴れてLGLの誕生となりました。

もともとこの地区には、出港と帰港の際、必ず女性が見送り、出迎えを行う習慣があります。LGLさんの3名は地区内にある3ヶ所の船着場をそれぞれ担当し、他の女性の方と一緒に、ライフジャケットの着用確認や声掛けを行うなどの活動を行っています。LGLさんは「高砂地区は約20年前から高砂市漁業組合連合会主催『漁船海難防止講習会』を行っており安全に対する意識は高いうえ、浜の習慣が重なり、着用推進の声掛けも円滑に出来た。女性に言われると皆、聞く耳を持ってくれるようです」と話され、松本組合長は「男性よりも女性のほうが適任」と話されました。

LGLの皆さんの活動や講習会の甲斐もあって、松本組合長は「着用率100%」と断言とされています。先日同保安署がライフジャケットの着用状況を抜き打ちで調査をしたところ、全員着用していたとのこと。LGLさんは「前回の講習会で、膨張式ライフジャケットを上着の下に着ると効果がないことが分かった。こういった講習会での情報収集は大事だと感じました。今後も地域に根ざした活動を行ってきたい」と話され、松本組合長は「こういった取組みが他地区にも広がってほしい」と、今後の県内各地での海難防止活動の盛り上がりに向けて期待を寄せられました。

帰りに期待を寄せられました。



一昨年の委嘱式の記念写真(写真提供: JF高砂 松本組合長)

フジャケット・浮輪が整然と並べられていました。お聞きすると「事務所前の浜に、祭りなどで大勢が集まることがある。万が一に備えて、倉庫ではなく、すぐに取り出せ、みんなの目に付くところに置いておく」とのことでした。ここにも海難事故防止への意識の高さを感じることが出来ました。

今回、取材にご協力頂きました3名のLGLさん、また、JF高砂 松本組合長はじめ関係者の皆様に、紙面を借りまして御礼申し上げます。なお、この件に関するお問い合わせ等はJF兵庫漁連指導部(TEL:078-940-8013)までお願いします。

金融移動店舗車 「にっしい号」運行開始

J A兵庫西は4月1日（月）から、窓口機能を搭載した金融移動店舗車「にっしい号」の運行を神崎郡で開始しました。主に中山間地域を巡回し、交通手段の限られた組合員や利用者のもとへ出向くことで利便性を向上させるとともに、地域との絆をより一層深めていくことを目的としています。

「にっしい号」は全長6.6メートル、幅2.1メートルのトラックで、車内にカウンター形式の窓口を設置。オンライン端末を搭載し、衛星通信機能を利用することで取引のスムーズ化を図るとともに、災害時などでも安定した通信手段を確保することができるものです。

同車は公民館や旧JA店舗などに停車をして、窓口担当者と渉外担当者が貯金の入出金や共済の相談などを受け付けます。運行初日に入金のため立ち寄った女性は「家の近くに移動車が停まるので便利」と歓迎されていました。

5月以降は、たつの市や宍粟市、佐用町などへとエリアを拡大し、充実した地域密着型サービスを図っていきます。



▲安全祈願祭でテープカットをする市村組合長ら（管理本店）

「ひょうご消費者セミナー 2012」を開催

3月12日（火）、消費者支援機構関西（KC's）、ひょうご消費者ネット、生活協同組合コープこうべ、兵庫県生協連の4者共催の「ひょうご消費者セミナー2012」を開催しました。このセミナーは、適格消費者団体の役割としての「集団的消費者被害救済制度」について理解を深めるとともに、幅広い世代の消費者に学びの中から発見した「やさしい暮らし方」を提案するもので、当日は130名が参加しました。

はじめに「消費者庁の現状と今後の課題」と題して、消費者庁長官 阿南 久氏が講演。「消費者が自ら必要な知識を習得し、地域のなかで情報を共有し、よりよい社会づくりの主体となる“消費者市民社会”をめざしていきましょう」と話されました。

その後「集団的消費者被害救済制度～消費者はもう泣き寝入りせえへんで～」をテーマに、大阪大学学生劇団「ちゃうかちゃん」のみなさんによる楽しい寸劇では、学納金の問題から「集団的消費者被害救済制度とは、どんな制度なのか」をわかりやすく学びました。

また、消費者被害の現状や新訴訟制度への取り組みについて、消費者支援機構関西 常任理事の二之宮 義人氏をコーディネーターとして、兵庫県生活科学総合センター 主幹兼相談調査課長 本多 三洋子氏、兵庫県立大学環境人間学部環境人間学科 村上 りさ氏、ひょうご消費者ネット 理事 上田 孝治氏の3名のパネリストによるパネルディスカッションが行われました。

参加者からは、「適格消費者団体と訴訟制度の内容がよくわかりました」「世の中のトラブルの内容を知りました。適格消費者団体の活動は、悪質事業者の抑制になると思った」「情報を“知らせる”取り組みの大切さを実感しました」などの感想が寄せられ、充実した内容のセミナーとなりました。



◀消費者庁 阿南 久 長官

▼消費者被害の現状についての
パネルディスカッション





旬に想う

写真と文
遊方子

豆腐と納豆

◆豆腐には確かに「旨い・不味い」がある。たまたま入った明石の飯屋のは、実に美味しくてお代わりをした。司馬遼太郎が「花神」に書いているが、のちに大村益次郎と改名する村田蔵六は豆腐が好きで、蔵六自身も豆腐のような男だったそうだ。虚飾がなく実があり、無愛想であつたらしい。確かに豆腐を食べるとそんな感じがする。大豆のもつ植物蛋白質は、非常に上質で「畑の肉」ともいえる。明治八年オーストリアで開催された万国農業博覧会に、日本からは大豆とテングサを出品した。その大豆の栄養成分を調べた結果、牛肉に近い蛋白質や脂肪を含んでいると判り「畑の肉」と呼んだのが最初だそうだ。

◆豆腐は中国で発明されたが、いつ・誰がとなると曖昧な伝承話になる。漢の高祖の孫、劉安(りゅうあん)だとするのが定説になっているが、ある中国の学者によれば、「豆腐の起源は16世紀後期以前の文献に掲載が無く、宋代になってからだ」と指摘している。日本の通説は、八世紀の奈良朝時代に遣唐僧がもたらしたとしているが、「豆腐は存外「新しい食べ物」なのかも知れない。食べ方は冷や奴・湯豆腐・田楽が豆腐の美味しさを味わうのに適っている。少し以前の豆腐は、凝固剤にニガリを使っていたので、絹漉し豆腐は長い時間水に晒したが、硫酸カルシウムに変わり苦みが無くなった。食べ物も進化している。」

◆平成21年生まれの孫は納豆が大好きである。母親たる末娘が、子供の頃から納豆好きだったから気質遺伝のようだが、およそ子供の好き嫌いというのは母親に影響される。自分の嫌いな食材は決して食卓に乗せぬからである。納豆菌の働きにより、大豆の蛋白質が分解され一部がアミノ酸に変化する。このため消化吸収が抜群に良く栄養価も高い。その成分は動脈硬化や高血圧など成人病に効果がある。ナの子を十個を丸めて輪にしたのが関西納豆工業のマークで、消費拡大を狙い、七月十日を「納豆の日」に設定した。ゴロ合わせである。

◆平安後期の武将、源八幡太郎義家に納豆誕生を伝える伝説がある。義家は奥州十二年に及ぶ合戦で武勇を挙げたが、その戦さで馬糧に使った煮豆が、偶然に発酵して納豆が出来たという。伝説の真偽はさておき、義家の足跡の残る町々で、今も納豆が作られている。納豆をより美味しくするには、刻み葱・削り鰹・溶き芥子が必須で、これらを掻き混ぜて十分に粘りを出すのがコツであり、醤油味で食べるのが最高という。北大路魯山人の著書に、三百回以上混ぜること、混ぜることで糸が切れ蜘蛛の巣状になり、そして旨みが増すとあった。

大輪田塾だより

栽培漁業とアサリについて

3月の大輪田塾は26日(火)に「栽培漁業の概要について」と「アサリ概論〜生態から増殖技術まで」の2課題を開講しました。

「栽培漁業の概要について」は(公財)ひょうご豊かな海づくり協会 永山博敏主幹が講義を行いました。栽培漁業の概念や、同協会が行っている事業内容について詳しく解説がなされ、塾生は理解を深めました。

続く「アサリ概論〜生態から増殖技術まで」では県立水産技術センター 安信秀樹主席研究員が講義を行いました。アサリの生態から、現在、西播地区で盛んに行われている延縄式垂下蓄養の具体的な事例について説明がありました。塾生からはその方法や、適合する漁場の条件など、熱心な質問が多く出されました。



安信主席研究員からアサリについて学びました



永山主幹の講義

この後の大輪田塾

日時：平成25年5月2日(木) 13時30分から
水産会館にて

講義：「水協法概要」(仮題)

日時：平成25年5月21日(火) 13時30分から

JF神戸市にて

講義：「漁協における加工事業について」(仮題)